

これが算数・数学科の授業モデルです

学習の過程 ○ 数学的な見方や考え方にかかわる主な活動	思考力を構成する代表的な要素	指導の工夫
① 問題の把握 ○ 問題を数理的にとらえる 	A 主体的に問題にかかわること 問題がわかったぞ！ よーし、やってみよう！ B 既習事項や日常の経験を想起すること	身近な事象から問題を取り上げ、問題意識や疑問がもてるような 体験的・操作的 活動を取り入れましょう。児童生徒が 自ら問題を見付けたり、選択 したりする活動も効果的です。 絵や図、式に表現したり、 既習事項と関連 付けて表現したりするようにしましょう。
② 解決の見通し ○ 解決の結果や方法について見通しをもつ 	前に習った考えが使えそうね！ C 根拠を明らかにすること	既習事項を振り返り、既習の 具体的な数 に置き換えたり、 似たような問題 を想起したりするように助言しましょう。また見通しを 発表し合う 活動を取り入れましょう。 結論が いえる ためには何が必要か考えたり、 見通しを立てた理由 を 発表 したりする活動を行いましょう。
③ 解決の実行 ○ 既習の知識や技能、数学的な見方や考え方を活用して、問題を解決する 	図や式を使って、考えたことがうまく表現できるから。 D 筋道を立てて表現すること	図と式の表現を 言葉で関連 付けたり、図に 理由や根拠 を 記入 したりする活動を行いましょう。 解決のための 時間と場 を確保し、解決過程を 図や式 に表現したり、それをよんだりする活動を取り入れましょう。また 多様な考え で解いてみましょう。
④ 振り返り・まとめ ○ 新たな知識や技能を獲得し、数学的な見方や考え方を味わう 	これはいい考えた！「〇〇の考え」という名前を付けておこう！ E よりよいものを見付けること	理由や根拠を表現し、友達同士で 説明し合う 活動を行いましょう。 解決過程の 図や式 を よみ合 いましょう。また 共通点 や 簡単な方法 を話し合い、数学的な見方や考え方に 気付き 、そのよさを 味わ い、それを 言葉で表現 する活動を設定しましょう。